

Criteo、2018年第2四半期の業績を発表

2018年度通期見直し修正、eリテールテックの先駆的ベンチャー企業買収を発表

コマースマーケティングのテクノロジー企業である、Criteo（本社：フランス、NASDAQ：CRTO）は、2018年6月30日を末日とする2018年第2四半期の決算を発表しました。

■2018年第2四半期 業績ハイライト

- 売上高は前年同期比1%（為替変動の影響を除くと3%¹）減の5億3,700万ドルでした。
 - トラフィック獲得コスト（TAC）を除く実質売上高²は前年同期比5%（為替変動の影響を除くと2%）増の2億3,000万ドルとなり、対売上高比率は42.9%でした。
 - 調整後EBITDA²は前年同期比27%（為替変動の影響を除くと20%）増の6,900万ドルであり、TACを除く実質売上高に対する比率は30%でした。
 - 営業活動によるキャッシュフローは前年同期比33%減の4,000万ドルでした。
 - フリー・キャッシュフロー²は2,200万ドルでした。
 - 純利益は前年同期比96%増の1,500万ドルでした。
 - 希薄化後1株当たり調整純利益²は前年同期比36%増の0.53ドルでした。
-
- 2018年度のTACを除く実質売上高は、為替変動の影響を除いて-1%から+1%の成長を見込みます。
 - 2018年度の調整後EBITDAマージンは、TACを除く実質売上高に対し30%から32%増を見込みます。
-
- 小売業者が自社のECサイト上での広告掲載で収益化を可能にするプラットフォームを開発する、eリテールテックの先駆けのベンチャー企業であるストアテイル社（Storetail）の買収において、正式契約を締結しました。

■エグゼクティブのコメント

CriteoのCEO（最高経営責任者）であるJB・リュデルは、「私がCEOに復帰してから顧客の皆様とお会いして交わした会話から、Criteoがご提供している価値に関して前向きな見解をいただいています。こうした信頼のもと、さらなる製品およびソリューションを通じてお客様との関係をさらに広げてまいります」と述べています。

また、CFO（最高財務責任者）のブノワ・フオンは、「第2四半期における成長性、収益増および豊富なキャッシュフローを踏まえると、当社のビジネスモデルが有望かつ市場の急速な変化にも強いことをお示してきたものと考えております」と述べています。

■ビジネスハイライト

- 当社の顧客数は、当期末時点で前年同期比16%増の1万9,000以上となり、顧客維持率は全製品に渡って90%に近い水準を維持しました。



- Criteo Customer Acquisition (クリテオ・カスタマー・アクイジション)、Criteo Audience Match (クリテオ・オーディエンス・マッチ)、Criteo Sponsored Products (クリテオ・スポンサード・プロダクト) を含むノンリターゲティング製品における TAC を除く実質売上高は、前年同期比 72% 増、全事業売上上の 6% となりました。
- モバイルアプリ内広告事業は TAC を除く実質売上高が前年同期比 38% 増となりました。
- 当社のヘッダー入札技術である Criteo Direct Bidder (クリテオ・ダイレクト・ビッダー) は、2,300 社の大手パブリッシャーに連携しています。(第 1 四半期は 2,000 社でした。)
- 既存クライアントの TAC を除く実質売上高³は、ウェブブラウザの Safari でトラッキング可能なユーザー範囲が制限されたことにより、3% 減となりました。

¹ 為替変動の影響を除くベースでの増加率は、2017 年の該当期間の平均為替レートを 2018 年の数値に適用して算出しています。

² TAC を除いた実質売上高、調整後 EBITDA、希薄化後 1 株当たり調整純利益およびフリー・キャッシュフローは、米国一般会計原則 (GAAP) に従って計算された指標ではありません。

³ 既存クライアントの TAC を除く実質売上高は、ある四半期に当社と取引があり、その 1 年後の同じ四半期になお当社と取引があるクライアントによる TAC を除く実質売上高です。

※本資料は、Criteo より 2018 年 8 月 1 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

※本リリースの全文は英文資料をご参照ください。

###

■ Criteo (クリテオ) について ■

Criteo (NASDAQ : CRTO) は、オープンで透明性のあるインターネット上の広告プラットフォームを提供しています。2,700 名以上の Criteo チームメンバーは、世界 19,000 社の広告主と、数千のパブリッシャーと連携して得られる膨大なデータを、機械学習を用いて精密に分析することで、全ての広告チャネルを通じた効率的な広告配信を実現します。Criteo はテクノロジーを通じて、あらゆる規模の広告主に対し、ユーザが本当に求めているものに出会える仕組みを提供します。www.criteo.com/jp/

※CRITEO 株式会社はその日本法人です。